

四つのテスト

言行はこれに照らしてから ① 真実かどうか ② みんなに公平か ③ 好意と友情を深めるか ④ みんなのためになるかどうか

本日の
プログラム

PELS 報告

吉田健朗会長エレクト

3月

水と衛生月間

前回例会出席率
63.04%

会長の時間

会長 宮脇 謙舟

皆様、こんにちは

4月に地図、公図についての講義を行う予定でして、週末は資料を作っていましたので、少し、地図、公図の話をしていただきます。

現在、日本で使われている地図や地籍の基礎は、明治時代の地租改正によって作られたものです。明治6年に地租改正法が制定され、明治14年頃までに、土地の所有者や面積を記した台帳、そして現在の地図・公図の元になる図面が整備されました。

この時の測量は、主に村民が担いました。短期間で全国的に実施されたため、精度の低い図面も多く作られました。その後、再調査も行われていますが、それでも限られた期間での作業であり、現在の精度から見ると不十分なものが多く残っています。さらに当時は、土地の所有権という考え方が、従来の領主的な支配から個人所有へと大きく変わった時期でした。十分に理解されないまま制度が進められた中で、全国の土地を図面化したことは、非常に大きな事業だったと言えます。

その中でも鹿児島は特殊な事情があります。明治10年に起きた西南戦争の影響により、測量体制が十分に機能し



ませんでした。本来は、読み書きや計算ができる士族層の関与が必要でしたが、その協力が得られず、結果として精度の低い地図が多く作成されました。

そのため現在でも、鹿児島の一部地域では、どこにその土地があるのか分からないような公図が残っており、実際に法務局で取得できる図面として使われています。

現在は、地籍調査や地図整備が進められていますが、合意形成やコストの問題もあり、必ずしも問題の大きい地域から優先的に進んでいるとは限りません。また、山林などでは管理が行き届かなくなり、昔の里道や境界も分からなくなってきています。個人的な体感としまして、山の境界を把握しているのは「70代以上」の高齢の方に限られてきているのが現状です。

地図や公図は、単なる図面ではなく、国土の利用や保全の基礎となる重要なインフラです。

この問題は時間が経つほど解決が難しくなります。だからこそ、今のうちに地図整備を進めていく必要があると考えています。

私自身も少しでも地図行政の手伝いをしていきたいと思っています。

有り難うございました。

情報集会報告

「会員増強について」

■ 1班

発表者：松本 昭郎



会員増強委員会において「全会員が全員で取り組むことが重要である」という具体策が示されましたので、参加した各会員が1～2名の候補者を持ち寄り、意見交換を行いました。

全体的な課題感としては、地域の中小企業が減少していることや後継者不足、また人口減少などが挙げられます。他クラブの退会事例としては、本業が忙しいことや敷居が高いこと、交流が希薄になったことが原因として挙げられます。また、講演やイベント企画が少ないこと、女性会員が少ないこと、衛星クラブの例会の充実度や運営に改良の余地があることなども課題として指摘されました。

名誉団体としての格式や伝統を守りつつも、クラブの存

続性や発展性を長期的に考える必要があります。そのためには、若い経営者の会員拡充や、参加しやすく楽しさや学びがあり、ビジネスにもつながる魅力要素が必要です。また、地域コミュニティーや経営者ネットワークとの連携、女性経営者や若手起業家などのロータリーアクトの取り込みも重要です。さらに、魅力発信の手段として、ライブ配信やSNSでのPRも有用であるとの意見も交わされました。

今回の情報集会では、ロータリーメンバー一人ひとりが会員増強に参画して「全員で取り組む」姿勢で引き続き勧誘活動を行っていくことが重要であるという認識に至りました。

■ 2班

発表者：林 幸一郎



1. 中央ロータリークラブとしての戦略づくり
⇒中央ロータリーのブランディング・・・ほかにはないものを作り上げる。他クラブとの差別化

⇒今の中央ロータリーは悪くない。前を向こう。・・・それをわかってもらうためには？

権威主義的ではなく、楽しさをアイデンティティに懇親会など、たのしく。楽しくなければ来ない。定例会にも参加してもらうために声を掛ける休会状態の会員を増やさない。

休みがちな方には役員や近い人が訪問するなど

⇒意見を出しっぱなしにするのではなく、委員会などで進捗管理をするなど目に見える形を会員同士で管理する。

2. 方法論

⇒過去所属していた方の二世にアプローチ

⇒青年会議所、商工会議所青年部へのアプローチ

⇒甲南高校のOB O Gに対するアプローチ・・・会員それぞれの所属に対するアプローチ

⇒倫理法人会へのアプローチ

⇒ベストフレンドへのお誘い

3. 他クラブの状況などを参考に

⇒衛星クラブの位置づけ・・・東クラブ、サザンウィンドクラブ

⇒衛星クラブとの交流

衛星クラブを作ることの弊害もあり、会員は増えるが一概にいいと言えないと思う。

クラブの存在意義が薄まる可能性もあり、もろ刃の剣となる可能性が高い！

4. 実際の活動にあたって

⇒近傍でのボランティア活動の開催（吹上ではなく市内）活動をいろいろな方に知ってもらう。実際にみてもらう。

乳児院へのプレゼントはメディアで取り上げられている。

■ 3班

発表者：徳重 政志



会員増強についての意見交換内容

・各会員が入会候補となる知人・友人・取引先などを思い付く範囲でリストアップする。

- ・アプローチの際には、年会費について事前に丁寧に説明し、他団体との比較も含めて理解していただく。
- ・他団体では35歳・40歳・45歳前後で卒会される方も多いため、そのタイミングを見て声掛けを行う。
- ・入会后、仕事や家庭の都合で例会参加が難しくなり、そのまま退会につながるケースもあるため、会全体で継続的にフォローする。
- ・特にラウンドテーブルなどへの声掛けを行い、自然に参加しやすい環境をつくる。
- ・ロータリーのブランド力をさらに高め、「入りたい」と思ってもらえる魅力ある会づくりが必要。
- ・中央ロータリーならではの魅力や良さを、対外的にも分かりやすく発信していく。
- ・職業分類・カテゴリーを広げ、多様な業種の方に参加していただける体制を考える。
- ・奉仕活動を通じた社会貢献を積極的にアピールする。
- ・募金活動などの実績も発信し、地域に役立つ団体であることを伝える。
- ・既存会員一人ひとりが「仲間を増やす意識」を持つことが、会員増強の第一歩になる。



会員増強委員会委員長



3班補足説明



総括

スマイル・ボックス

●学習会・RT / 2/18 (水) 学習会・ラウンドテーブル参加者でスマイルします。参加者:宮脇、下村、坂元、小福田、逆瀬川、

犬持、水口、徳重

●情報集会 3班 / 3/11 (水) 情報集会参加者でスマイルします。参加者:宮脇、本坊、田中、高岡、吉田、志賀、下、福山、浦島、水口、徳重

3月23日のスマイル 小計 15,879円 2025~2026年度 累計567,162円

R ソング:「四つのテスト」

職業宣言唱和: 5. 6

ゲスト紹介: ベストフレンド=

アールズ社会保険労務士事務所 所長 原田 雄一郎様

前屋行政書士法務事務所 特定行政書士 前屋 寿寛様

食事: 「百万ドル食事」・「本日の演奏」

会長の時間: 宮脇 謙舟 会長

会務報告: 林 幸一郎 幹事

1) 本日の配布 ①週報 ②ロータリーの友 (3月号)

2) ロータリー親睦活動グループによる第61回世界ゴルフ選手権のご案内 (案内掲示)

日程: 2026年10月18日~23日

会場: 台北市内ゴルフ場

第2209回例会記録

3月23日(月)

参加ご希望の方は、事務局までお申し出ください。

3) 次週 3/31 (月) 例会

例会プログラム PELS 報告 吉田 健朗会長エレクト

出席報告: 出席委員会

スマイルボックス: 親睦委員会

3分間情報: 友の見どころ = 広報雑誌 IT 委員会

卓話: 情報集会報告 1班~3班

次回例会 令和8年4月6日(月)

会員増強フォーラム

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2209回例会	46名	29名	63.04%
前々回(3月6日)の補正	46名	27名	60.00%